

プローブ情報活用ワーキンググループ

- 1 プローブ情報活用ワーキンググループの概要
- 2 令和2年度の実施結果
- 3 令和3年度の実施内容

1 プローブ情報活用WGの概要

(1) 設置趣旨

県内の自動車メーカーが保有するプローブ情報について、交通事故の防止、事故数減少に資する交通安全施設の設置等の交通安全対策への活用を検討する。

(2) 構成員

トヨタ自動車(株)、中部地方整備局、県警本部交通部交通総務課、
県警本部交通部交通規制課、県建設局道路維持課・経済産業局産業部産業振興課、
豊橋技術科学大学・松尾准教授（アドバイザー）

(3) 検討事項

- (1) プローブ情報の交通安全対策への有効性の確認
- (2) プローブ情報の交通安全対策への活用
- (3) プローブ情報活用により実施した交通安全対策の効果検証 など

(4) WGの流れ

- 1年目：プローブデータ分析、事故危険箇所の抽出、現地調査の実施
- 2年目：現地調査箇所の道路対策の実施
- 3年目：対策実施箇所の効果検証

1 プローブ情報活用WGの概要

WGの役割について

【従来】 プローブ情報の交通安全対策への活用を検討
主に交通事故数の多い市町村を対象に、プローブ情報を活用し、危険箇所の特定制から交通安全対策の効果測定までを実施。



【今後】 従来の役割に加えて、
**新しいプローブ情報の先駆け的活用及びそれぞれの自治体が
プローブ情報を活用していくためのきっかけを作る役割を担う。**

近年はETC2.0の普及が進み、市町村単位での活用が検討され始めており、さらに新たなプローブ情報が生まれつつある。

「交通ビッグデータに興味があるが、実際にどういった活用方法があるのか、何から始めたらいいかわからない」といった市町村がWGに参加し、実際にプローブ情報を活用して交通事故対策・効果測定を行うとともに、どうやってデータを扱っていくか、活用方法・方針を検討できるトライアル期間としての機能も果たす。

また、ADAS装備車両などから得られる先進的なプローブデータの活用方法も検討していく。



1 プローブ情報活用WGの概要

今年度のスケジュール

○R2年度対策実施地区の効果検証と、今年度の対策箇所を決定する。

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
豊橋市 岡崎市 春日井市	プローブデータ分析 ↓ 対策箇所決定	道路対策実施	プローブデータ分析 ↓ 効果検証			
名古屋市 西尾市		プローブデータ分析 ↓ 対策箇所決定	道路対策実施	プローブデータ分析 ↓ 効果検証		
半田市				プローブデータ分析 ↓ 対策箇所決定	道路対策実施	プローブデータ分析 ↓ 効果検証

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は、対策箇所の選定とWG会議の開催はなし。

2 令和2年度の取組結果

(1)平成31年度対策実施箇所の効果検証結果

(ゾーン30等における高車速リンク情報およびABS情報)

H30 分析
H31 対策
R2 効果検証

効果検証結果

※ 令和2年度の効果検証結果報告

- ① 豊橋市岩田周辺の市道
- ② 豊橋市花田周辺の市道
- ③ 岡崎市明大寺周辺の市道
- ④ まとめ



2(1)平成31年度対策実施箇所の効果検証結果

(ア) 経緯

○平成30年度

東西に位置する尾張地方と三河地方において、人身事故件数が比較的多い自治体のうち
豊橋市、岡崎市、春日井市の3市を選定

○令和元年度

上記3市のうち、現地調査により4箇所の道路交通対策を開始

○令和2年度

豊橋市と岡崎市について、道路交通対策が完了。※春日井市は未完了
プローブデータを分析し、効果検証を実施

(イ) 対策実施箇所

	対象箇所	選定理由
①	豊橋市 岩田周辺市道	ゾーン30内の高車速
②	豊橋市 花田周辺市道	歩行者事故危険箇所
③	岡崎市 明大寺周辺市道	ゾーン30内の高車速
④	春日井市 味美周辺市道	ゾーン30内の高車速

2(1) 平成31年度対策実施箇所の効果検証結果

(ウ) プローブデータの仕様

抽出対象となる道路
①豊橋市岩田周辺の市道 ②豊橋市花田周辺の市道 ③岡崎市明大寺周辺の市道
プローブ情報の抽出条件
年月日時毎の、 (ア)対象道路の速度毎の通過台数(10km/h毎にわけて作成) (イ)対象道路のABS発生件数 (継続時間を1秒未満, 2秒未満, 3秒未満, 4秒未満, 4秒以上にわけて作成)

プローブ情報の抽出期間 (対策期間前後比較)

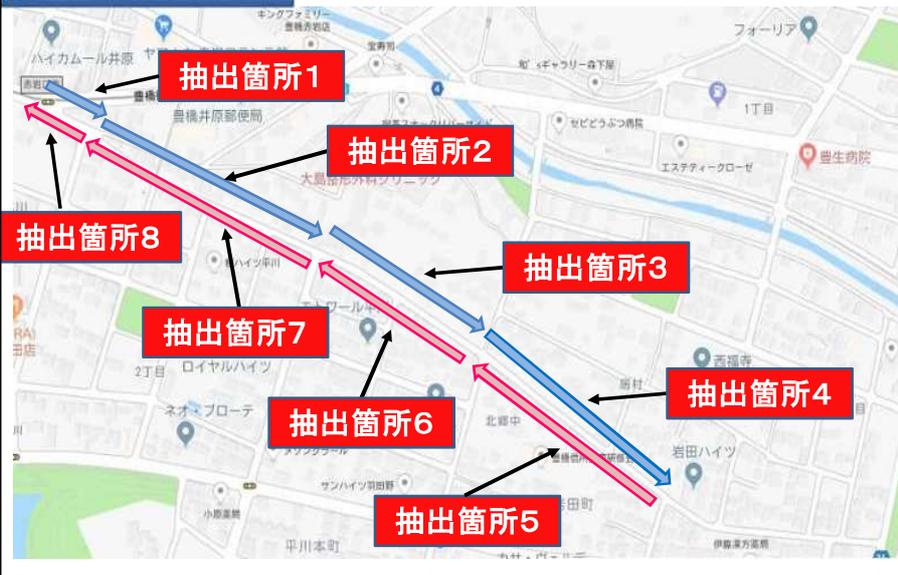
平成30年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	比較期間①(対策前)											
	比較期間②(対策前)											
	比較期間③(対策前)											
平成31年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	比較期間①(対策前)								対策実施期間①			
	比較期間②(対策前)			対策実施期間②								
	比較期間③		対策実施期間③									
令和2年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	対策実施期間①		比較期間①(対策後)									
	対策実施期間②								比較期間②(対策後)			
	対策実施期間③								比較期間③(対策後)			

2(1) 平成31年度対策実施箇所の効果検証結果

- ① 豊橋市岩田周辺の市道
- ② 豊橋市花田周辺の市道
- ③ 岡崎市明大寺周辺の市道

① 豊橋市岩田周辺市道 ゾーン30内

○プローブ情報の抽出箇所



① 豊橋市岩田周辺市道 ゾーン30内

○対策実施状況



① 豊橋市岩田周辺市道 ゾーン30内

○対策実施状況

番号	対策機関	対策内容	可否	理由・代案	対策実施状況
①	市	ポストコーン設置による狭さく化	○		路線東側について令和2年8月実施済み(西側は乗り入れが多く、調整が難しいため今回の検証結果をもって説明予定。)
②	市	区画線の引き直し	○		令和元年9月実施
③	市	路肩のカラー舗装の修繕	×	他地区でも多数要望が有り、順番に対応している状況のため。	
④	市	カーブミラーの整理	×	地域住民の理解と協力が必要なため。(地元へは調整を依頼済)	
⑤	市	ゾーン30の路面標示の明確化(色や四角で囲う等)	×	既に道路管理者設置済のものが6箇所、警察の速度規制標示が4箇所所有。また、イメージハンブ等も設置済。	
⑥	警	補助信号灯機の削減	○		令和2年2月実施
⑦	警	速度取り締まり	○		実施済み(継続中)

① 豊橋市岩田周辺市道 ゾーン30内

○対策実施状況

⑥(警)補助信号灯機の削減(○)



④(市)カーブミラーの整理(×)



⑤(市)ゾーン30の路面標示の明確化(色や四角で囲う等)(×)

①(市)ポストコーン設置による狭さく化(○)

②(市)区画線の引直し(○)

③(市)路肩のカラー舗装の修繕(×)

⑦(警)定期的な速度取り締まり(○)

① 豊橋市岩田周辺市道 ゾーン30内

対策前



対策後



補助信号機の削減・区画線の引き直し

ポストコーン設置による狭さく化



① 豊橋市岩田周辺市道 ゾーン30内

○対策前後の比較

抽出箇所1(東向き)

	通過車両 総数	うち 30km/ h以上	速度超過率	ABS作動回数
① 対策前 (2018年1月～ 2019年8月)	2789	1861	66.7%	0回
② 対策後 (2020年3月～ 2020年12月)	2267	1373	60.6%	0回
増減	▲522	▲488	▲6.1%	0回
p 値	-	-	0.0616	1

速度超過率が減少した。

① 豊橋市岩田周辺市道 ゾーン30内

○対策前後の比較

抽出箇所2(東向き)

	通過車両 総数	うち 30km/ h以上	速度超過率	ABS作動回数
① 対策前 (2018年1月～ 2019年8月)	2352	1622	69.0%	0回
② 対策後 (2020年3月～ 2020年12月)	1729	1051	60.8%	0回
増減	▲623	▲571	▲8.2%	0回
p 値	-	-	0.0000	1

速度超過率が減少した。

① 豊橋市岩田周辺市道 ゾーン30内

○対策前後の比較

抽出箇所3(東向き)

	通過車両 総数	うち 30km/ h以上	速度超過率	ABS作動回数
① 対策前 (2018年1月～ 2019年8月)	760	577	75.9%	0回
② 対策後 (2020年3月～ 2020年12月)	618	478	77.3%	0回
増減	▲142	▲99	+1.4%	0回
p 値	-	-	0.5652	1

速度超過率が上昇傾向だが、統計的に有意でない。

① 豊橋市岩田周辺市道 ゾーン30内

○対策前後の比較

抽出箇所4(東向き)

	通過車両 総数	うち 30km/ h以上	速度超過率	ABS作動回数
① 対策前 (2018年1月～ 2019年8月)	271	182	67.2%	0回
② 対策後 (2020年3月～ 2020年12月)	228	125	54.8%	0回
増減	▲43	▲57	▲12.4%	0回
p 値	-	-	0.0056	1

速度超過率が著しく減少した。

① 豊橋市岩田周辺市道 ゾーン30内

○対策前後の比較

抽出箇所5(西向き)

	通過車両 総数	うち 30km/ h以上	速度超過率	ABS作動回数
① 対策前 (2018年1月～ 2019年8月)	327	289	88.4%	0回
② 対策後 (2020年3月～ 2020年12月)	297	223	75.1%	0回
増減	▲30	▲66	▲13.3%	0回
p 値	-	-	0.0000	1

速度超過率が著しく減少した。

① 豊橋市岩田周辺市道 ゾーン30内

○対策前後の比較

抽出箇所6(西向き)

	通過車両 総数	うち 30km/ h以上	速度超過率	ABS作動回数
① 対策前 (2018年1月～ 2019年8月)	2013	1783	66.0%	0回
② 対策後 (2020年3月～ 2020年12月)	1526	1283	84.1%	0回
増減	▲487	▲500	▲4.5%	0回
p 値	-	-	0.0001	1

速度超過率が減少した。

① 豊橋市岩田周辺市道 ゾーン30内

○対策前後の比較

抽出箇所7(西向き)

	通過車両 総数	うち 30km/ h以上	速度超過率	ABS作動回数 (発生率)
① 対策前 (2018年1月～ 2019年8月)	4151	2741	66.0%	0回
② 対策後 (2020年3月～ 2020年12月)	2890	1844	63.8%	1回 (0.0346%)
増減	▲1261	▲897	▲2.2%	+1回 (+0.0346%)
p 値	-	-	0.0566	0.4105

速度超過率が減少した。ABS作動回数が増えたが統計的に有意差はない。

① 豊橋市岩田周辺市道 ゾーン30内

○対策前後の比較

抽出箇所8(西向き)

	通過車両 総数	うち 30km/ h以上	速度超過率	ABS作動回数 (発生率)
① 対策前 (2018年1月～ 2019年8月)	4945	1222	24.7%	0回
② 対策後 (2020年3月～ 2020年12月)	4052	1031	25.4%	1回 (0.0247%)
増減	▲893	▲191	+0.7%	+1回 (+0.0247%)
p 値	-	-	0.4339	0.4504

速度超過率、ABS作動回数ともに増えたものの、統計的に有意差はない。

2(1) 平成31年度対策実施箇所の効果検証結果

- ① 豊橋市岩田周辺の市道
- ② 豊橋市花田周辺の市道
- ③ 岡崎市明大寺周辺の市道

② 豊橋市花田周辺市道

○プローブ情報の抽出箇所



② 豊橋市花田周辺市道

○対策実施状況



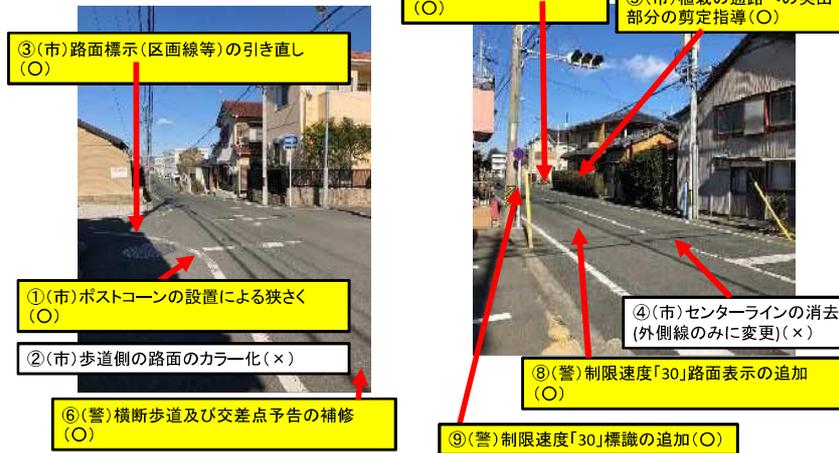
② 豊橋市花田周辺市道

○対策実施状況

番号	対策機関	対策内容	可否	理由・代案	対策実施状況
①	市	ポストコーンの設置による狭さく化	○		計画の一部について令和元年6月実施済(4箇所中3箇所については地元の理解が得られず中止)
②	市	歩車の区別をつけるため、歩道側の路面のカラー化	×	他地区でも多数要望が有り、順番に対応している状況のため。	
③	市	路面標示(区画線等)の引き直し	○		令和元年6月実施済み
④	市	センターラインの消去(外側線のみに変更)	×	施工は可能だが、他路線への影響が大きいと思われるため。	
⑤	市	植栽の通路への突出部分の剪定指導	○		平成31年4月実施済み
⑥	警	横断歩道予告の補修	○		令和元年9月実施済み
⑦	警	停止線の補修	○		令和元年9月実施済み
⑧	警	制限速度「30」路面表示の追加	○		令和元年9月実施済み
⑨	警	制限速度「30」標識の追加	○		令和2年8月実施済み

② 豊橋市花田周辺市道

○対策実施状況



② 豊橋市花田周辺市道

対策前

対策後



② 豊橋市花田周辺市道

○対策前後の比較

抽出箇所1(北向き)

	通過車両 総数	うち 30km/h 以上	速度超過率	ABS作動回数 (発生率)
① 対策前 (2018年1月～ 2019年3月)	1159	779	67.2%	2回 (0.1726%)
② 対策後 (2020年9月～ 2020年12月)	797	556	69.8%	0
増減	▲362	▲223	+2.5%	▲2回 (▲0.1726%)
p 値	-	-	0.2360	0.5169

速度超過率が上昇、ABS作動回数が減少したが、統計的有意差はない。

② 豊橋市花田周辺市道

○対策前後の比較

抽出箇所2(南向き)

	通過車両 総数	うち 30km/h 以上	速度超過率	ABS作動回数 (発生率)
① 対策前 (2018年1月～ 2019年3月)	2,109	546	25.9%	5回 (0.2371%)
② 対策後 (2020年9月～ 2020年12月)	1,045	229	21.9%	0回
増減	▲1064	▲317	▲4.0%	▲5回 (▲0.2371%)
p 値	-	-	0.0156	0.1776

速度超過率が減少した。通過車両総数の差はあるが、ABS作動回数が減少している。

2(1)平成31年度対策実施箇所の効果検証結果

- ① 豊橋市岩田周辺の市道
- ② 豊橋市花田周辺の市道
- ③ 岡崎市明大寺周辺の市道

③ 岡崎市明大寺周辺市道

○プローブ情報の抽出箇所



③ 岡崎市明大寺周辺市道

○対策実施状況



③ 岡崎市明大寺周辺市道

○対策実施状況

番号	対策機関	対策内容	可否	理由・代案	対策実施状況
①	市	三島小学校西側交差点の狭く化(すみ切り部分の外側線の拡幅等)	○	地元等(学校含む)の同意により実施可。	令和元年11月実施済み
②	市	三島小学校南側交差点の狭く化(ポストコーン設置等)	○	地元等(学校含む)の同意により実施可。	令和元年11月実施済み
③	市	路面標示の補修	○		令和元年11月実施済み
④	市	道路幅の統一化	○		令和元年11月実施済み
⑤	市	ゾーン30の路面標示の明確化(色や四角で囲う等)	○	平成31年3月予定。30km制限の標識マーク(計6箇所)	平成31年3月実施済み
⑥	警	「とまれ」の路面標示の修繕	○		令和元年11月実施済み
⑦	警	横断歩道の消去	○		令和2年8月実施済み
⑧	警	速度取り締まり	○		実施済み(継続中)

③ 岡崎市明大寺周辺市道

○対策実施状況

①(市)三島小学校西側交差点の狭さく化(すみ切り部分の外側線の拡幅等)(○)

②(市)三島小学校南側交差点の狭さく化(ポストコーン設置等)(○)

③(市)路面標示の補修(○)

④(市)道路幅の統一化(○)

⑤(市)ゾーン30の路面標示の明確化(色や四角で囲う等)(○)

⑥(警)「とまれ」の路面標示の修繕(○)

⑦(警)横断歩道の消去(○)

⑧(警)速度取り締まり(○)

③ 岡崎市明大寺周辺市道

対策前

対策後

道路幅の統一化

路面標示の補修・ポストコーンの設置

③ 岡崎市明大寺周辺市道

○対策前後の比較

抽出箇所1(北向き)

	通過車両 総数	うち 30km/h 以上	速度超過率	ABS作動回数 (発生率)
① 対策前 (2018年1月～ 2020年2月)	1896	959	50.6%	2回 (0.1055%)
② 対策後 (2020年9月～ 2020年12月)	1219	594	48.7%	7回 (0.5743%)
増減	▲677	▲365	▲1.9%	+5回 (+0.4688%)
p 値	-	-	0.3217	0.0332

ABS作動回数が増加した。

③ 岡崎市明大寺周辺市道

○対策前後の比較

抽出箇所2(南向き)

	通過車両 総数	うち 30km/h 以上	速度超過率	ABS作動回数
① 対策前 (2018年1月～ 2020年2月)	3072	969	31.5%	0回
② 対策後 (2020年9月～ 2020年12月)	1223	342	28.0%	0回
増減	▲1849	▲627	▲3.5%	0回
p 値	-	-	0.0228	1

速度超過率が減少した。

2(1) 平成31年度対策実施箇所の効果検証結果(まとめ)

対象箇所	検証結果 速度超過率 () 内ABS発生率 (※対策前、後で比較した増減結果)
(1)豊橋市岩田周辺市道(東向き)	抽出箇所1 ▲6.1618% 抽出箇所2 ▲8.1760% 抽出箇所3 +1.4252% 抽出箇所4 ▲12.3341%
(2)豊橋市岩田周辺市道(西向き)	抽出箇所5 ▲13.2950% 抽出箇所6 ▲4.4983% 抽出箇所7 ▲2.2261%(+0.0346%) 抽出箇所8 +0.7324%(+0.0247%)
(3)豊橋市花田周辺市道(北向き)	+2.5485%(-0.1726%)
(4)豊橋市花田周辺市道(南向き)	▲3.9752%(-0.2371%)
(5)岡崎市明大寺周辺市道(北向き)	▲1.8517%(+0.4788%)
(6)岡崎市明大寺周辺市道(南向き)	▲3.5789%

※p値が0.1未満の場合は赤、0.1以上の場合は黒

2(1) 平成31年度対策実施箇所の効果検証結果(まとめ)

- 全体的に速度超過率、ABS発生率ともに低下傾向となった。
- ABS発生率は、③岡崎市明大寺周辺市道で上昇した。これについては、対策を行ったことが影響を及ぼした可能性もある。
- ただし、ABS発生率が上昇したからといって、事故の危険性が高まったとは言えない。
- データの母数が不足しており、統計的に有意とは言えないものがあった。

2 令和2年度の取組結果 (2) 対策実施状況について

H31 分析
R2 対策
R3 効果検証

① 対策実施状況について

② 効果検証について



2(2) 対策実施状況

(ア) 経緯

- 平成31年度
西尾市、名古屋市の2市を選定
車速が早い車両の割合や、交通量に対するABSの発生頻度の高さに基づき、事故の危険が予測される箇所を抽出。
- 令和2年度
現地調査を実施した3箇所の交通安全対策を実施。

(イ) 対策実施箇所

	現地調査箇所	選定理由
①	西尾市桜町中新田 市道	ゾーン30隣接道路、高校、中学校、小学校、幼稚園、市立図書館が付近に立地
②	名古屋市北区 楠小学校含 ゾーン30内市道	ゾーン30内道路、住宅団地内道路
③	名古屋市中川区 戸田桜台 幼稚園付近 市道	ABS発生件数が多い(名古屋市中川区区内最多)、幼稚園が付近に隣接

2(2) 対策実施状況

(ウ) プローブデータの内容

抽出対象道路

- ① 西尾市桜町中新田付近 市道
- ② 名古屋市北区楠西小学校付近 市道
- ③ 名古屋市中川区戸田桜台幼稚園付近 市道

プローブ情報の内容

- 年月日時毎の、
- (ア) 対象道路の速度毎の通過台数(10km/h毎にわけて作成)
 - (イ) 対象道路のABS発生件数
(継続時間を1秒未満, 2秒未満, 3秒未満, 4秒未満, 4秒以上にわけて作成)

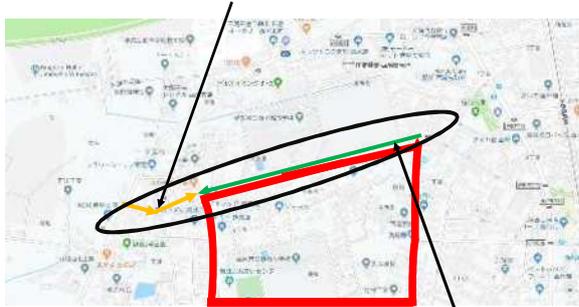
2(2) 対策実施状況

- ① 西尾市桜町中新田付近 市道
- ② 名古屋市北区楠西小学校付近 市道
- ③ 名古屋市中川区戸田桜台幼稚園付近 市道

① 西尾市桜町中新田付近 市道

プローブデータ分析結果(東向き)

全体の交通量	～29km/hの交通量	30km/h～の交通量	最多通過速度台数	ABS発生件数
434台	2台	432台	40km/h(257台)	0件



【選定理由】
ゾーン30隣接の市道

【対象道路】
市道

【周辺施設】
西尾高校、鶴城小学校、鶴城幼稚園

…ゾーン30

プローブデータ分析結果(西向き)

全体の交通量	～29km/hの交通量	30km/h～の交通量	最多通過速度台数	ABS発生件数
115台	1台	114台	50km/h(59台)	0件

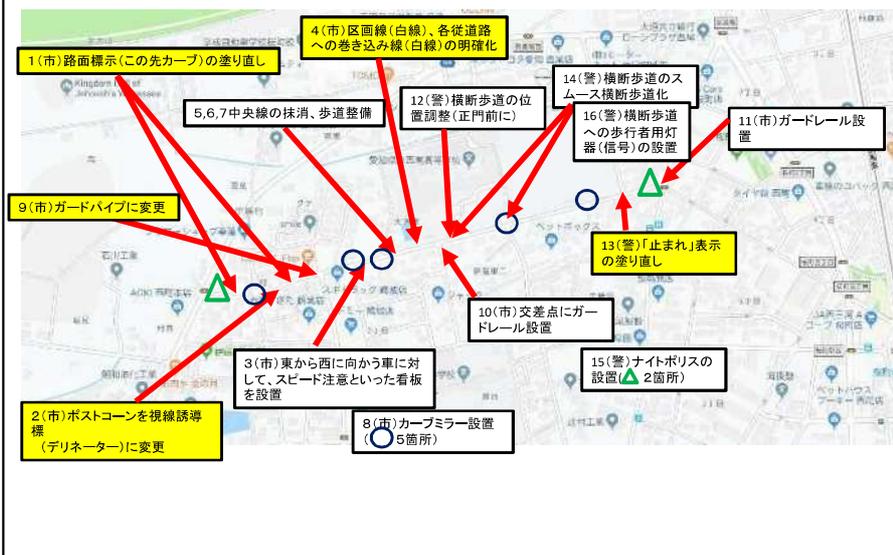
① 西尾市桜町中新田付近 市道

番号	対策機関	対策内容	可否	理由・代案等	実施状況
1	市	路面標示(この先カーブ)の塗り直し	○		令和3年2月実施
2	市	S字カーブに設置されているポストコーンを視線誘導標(デリネーター)に変更	○		令和3年1月実施
3	市	東から西に向かう車に対して、スピード注意といった看板を設置	×	看板設置場所がないため	
4	市	区画線(白線)、従道路への巻き込み線(白線)の明確化	○		令和3年2月実施
5	警	中央線の抹消	△	外側線による車道幅員の減少が出来ないならば不可	
6	市	中央線抹消に伴い車道の幅員減少	×	地元町内会と調整困難なため	
7	市	④、⑤に係る北側(高校側)への歩道整備	×	地元町内会と調整及び予算確保が困難なため	
8	市	カーブミラー設置	×	適切な安全確認位置からの目視確認が可能のため	
9	市	スギ薬局交差点のガードレールをガードパイプに変更	○		令和3年2月実施
10	市	高校南西付近にある横断歩道近くにある交差点にガードレール設置	×	ガードレールの設置は可能だが、地元町内会や付近住民との調整及び予算確保が困難なため	

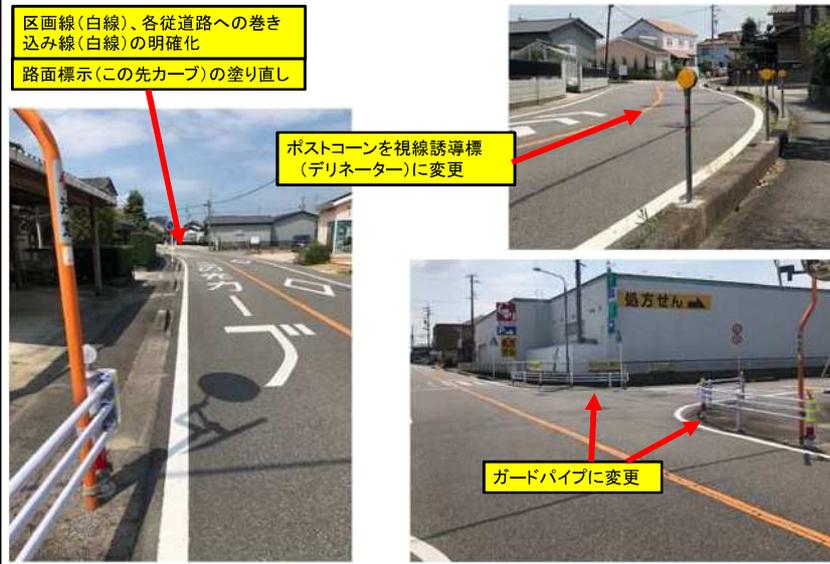
① 西尾市桜町中新田付近 市道

番号	対策機関	対策内容	可否	理由・代案等	実施状況
11	市	東側信号交差点ガードレール設置	×	横断歩道の移動及び地元との調整が困難なため	
12	警	横断歩道の位置調整(正門前に)	×	施設出入口に直結する場所での設置は不適切であるため	
13	警	対策道路東にあるT字型交差点にある「止まれ」表示の塗り直し	○		令和2年8月実施
14	市	横断歩道のスムーズ横断歩道化	×	地元町内会と調整及び予算確保が困難なため	
15	警	ナイトポリスの設置	△	担当部署に依頼中	
16	警	横断歩道への歩行者用灯器(信号)の設置	×	設置の必要性が低いいため	

① 西尾市桜町中新田付近 市道



① 西尾市桜町中新田付近 市道



2(2) 対策実施状況

- ① 西尾市桜町中新田付近 市道
- ② 名古屋市北区楠西小学校付近 市道
- ③ 名古屋市中川区戸田桜台幼稚園付近 市道

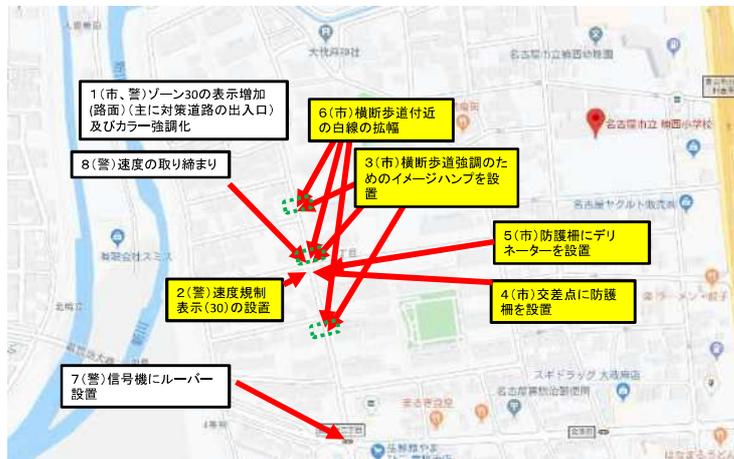
② 名古屋市北区楠西小学校 ゾーン30内市道



② 名古屋市北区楠西小学校 ゾーン30内市道

番号	対策機関	対策内容	可否	理由・代案等	実施時期
1	市、警	ゾーン30の表示増加(路面) (主に対策道路の出入口)及 びカラー強調化	×	名古屋市ではゾーン30の路 面標示を行っていないため	
2	警	速度規制表示(30)の設置	○		令和2年8月実施
3	市	横断歩道強調のためのイメー ジジャンプを設置	○		令和3年1月実施
4	市	交差点に防護柵を設置	○		令和3年1月実施
5	市	防護柵にデリネーターを設置	○		令和3年1月実施
6	市	横断歩道付近の白線を45cm にし、白線を拡幅することで、 車道を狭くする。	○		令和3年1月実施
7	警	信号にルーバーを設置	×	必要性が低いため	
8	警	速度の取り締まり	×	要望が必要	

② 名古屋市北区楠西小学校 ゾーン30内市道



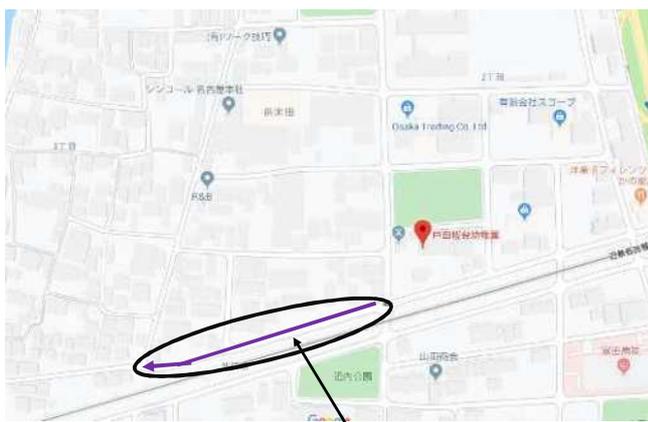
② 名古屋市北区楠西小学校 ゾーン30内市道



2(2)対策実施状況

- ① 西尾市桜町中新田付近 市道
- ② 名古屋市北区楠西小学校付近 市道
- ③ 名古屋市中川区戸田桜台幼稚園付近 市道

③ 名古屋市中川区戸田桜台幼稚園付近 市道



【選定理由】
ABS発生件数が多数
(名古屋市中川区区内最多)

【対象道路】
市道

【周辺施設】
・戸田桜台幼稚園
・近鉄名古屋線(鉄道)

プローブデータ分析結果

全体の交通量	～29km/hの交通量	30km/h～の交通量	最多通過速度台数	ABS発生件数
194台	4台	190台	40km/h(104台)	14件

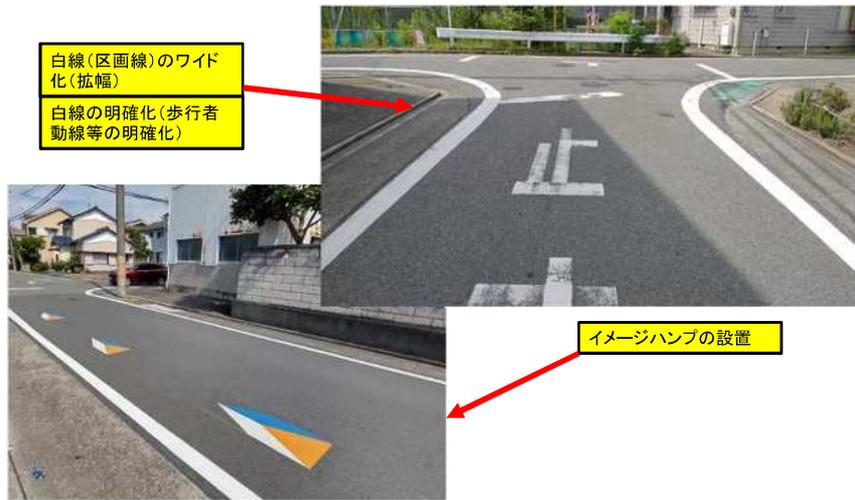
③ 名古屋市中川区戸田桜台幼稚園付近 市道

番号	対策機関	対策内容	可否	理由・代案等	実施時期
1	警	停止線の前だし	△	停止線の向き等も含めて検討	
2	市	ハンプ(イメージ型)の設置	○		令和2年11月実施
3	市	白線の明確化(歩行者動線等の明確化)	○		令和2年11月実施
4	市	白線(区画線)のワイド化(拡幅)	○		令和2年11月実施
5	警	速度規制(30km/h)の設置	△	物理的デバイス等の設置がされれば検討	
6	市	公園付近の横断歩道に「飛び出し注意」等の注意看板を設置	×	標識(407の3)があるため、看板によって視認性が悪くなる	
7	市	交差点の改良	×	用地買収による拡幅ができないため、交差点改良は困難	
8	市	ミラー除去	×	地元との調整が必要なため、撤去困難	
9	市	エスコートマークの設置	△	エスコートを含め別の路面標示を検討	

③ 名古屋市中川区戸田桜台幼稚園付近 市道



③ 名古屋市中川区戸田桜台幼稚園付近 市道



2 (2) 効果検証 (案) について

○対策の効果検証を行うため、対策後のプローブデータを抽出・分析し、検証予定

プローブ情報の抽出期間

【対策前】平成30年1月～12月(12か月間)

【対策後】令和3年3月～11月(9か月間)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成30年												
	比較期間(対策前)											
平成31年												
令和2年												
									対策実施期間			
令和3年												
				比較期間(対策後)								

3 令和3年度の取組内容

今年度の取組

【今年度の分析テーマ】

高車速リンク情報およびABS情報を活用した自治体連携型交通安全マネジメント
○対象自治体：半田市

【内容】

車速が速い車両の割合や、交通量に対するABS作動頻度に基づき、事故発生危険性が高いと予測される箇所を抽出する。

【プローブデータの仕様】

(1) 抽出条件

- ① 対象道路（方向別）の速度毎の通過台数（10km/h毎にわけて作成）
- ② 対象道路（方向別）のABS発生件数
（継続時間を1秒未満，2秒未満，3秒未満，4秒未満，4秒以上にわけて作成）

(2) 抽出対象期間

12ヶ月間（令和2年1月から令和2年12月まで）

(3) 対象道路

半田市内の国道、県道、市道

3 令和3年度の取組内容

今後のスケジュール（案）

